

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲

TEL 045-670-7720

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	652	14.5	29		33		32	
2020年3月期第3四半期	569	11.3	84		90		88	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 33百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 90百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.30	
2020年3月期第3四半期	3.58	

注) 2020年3月期第3四半期及び2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年3月期第3四半期	1,429		401		27.9
2020年3月期	1,353		381		27.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 398百万円 2020年3月期 376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,280	57.0	10		4		5	0.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	25,193,500 株	2020年3月期	24,724,500 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	株	2020年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	24,908,413 株	2020年3月期3Q	24,699,824 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞、その後社会・経済活動の再開に伴い改善の兆しもありましたが、再び感染拡大傾向に転じ、先行き不透明感が強まっております。

このような状況の中、当社グループは感染リスク低減のため、一部の部門を除き在宅勤務を原則とし、今後も継続する方針であります。営業活動といたしましては、Web会議の活用などにより継続しており、経済状況に左右されない安定的な収益を確保できる事業を中心に展開してまいりました。

これらの結果、売上高652,156千円（前年同期比14.5%増）、営業損失29,396千円（前年同期は84,282千円の営業損失）、経常損失33,509千円（同90,216千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失32,264千円（同88,540千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、通期としては、本日公表の「2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ」のとおり、増収増益での着地を見込んでおります。

また、セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。機器リース・運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器につきましては、製品の低価格化などにより、デジタルサイネージは幅広い業界に普及しつつあり、市場は拡大傾向にあります。加えて前期より主力業界の変更に取り組み、外部企業との連携やWeb施策を実施しており、様々な業界からのお問い合わせや案件数は増加しております。しかし、案件の検収が第4四半期に集中しており、業績への寄与も同時期となる見込みです。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高591,139千円（前年同期比12.8%増）、セグメント損失17,952千円（前年同期は69,772千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、地域創生を軸とし、SNSと大型LED表示機を連動したWeb-リアルを横断するクロスメディアの運営を行っております。将来的に当社グループの基幹事業とすべく人員の増強、今後の拡大を見据えた仕組化等に取り組んだことによる費用増加もあり、黒字化には至りませんでした。

以上の結果、Value creating事業は、売上高61,017千円（前年同期比33.2%増）、セグメント損失11,444千円（前年同期は14,509千円のセグメント損失）となりました。セグメント損失であるものの、売上高は引き続き増加しており、当社グループの基幹事業とすべく展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、1,429,039千円（前連結会計年度比75,370千円の増加）となりました。その主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、1,027,272千円（前連結会計年度比55,322千円の増加）となりました。その主な要因は、借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、401,767千円（前連結会計年度比20,047千円の増加）となりました。その主な要因は、新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、連結業績に与える影響額を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,993	993,525
受取手形及び売掛金	158,077	123,765
商品及び製品	62,626	66,993
仕掛品	5,398	1,951
原材料	11,891	16,480
その他	18,516	71,833
貸倒引当金	△112	△84
流動資産合計	1,217,390	1,274,464
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	372	331
車両運搬具（純額）	2,409	1,807
工具、器具及び備品（純額）	16,061	20,466
レンタル資産（純額）	12,234	10,773
リース資産（純額）	51,188	59,598
有形固定資産合計	82,266	92,978
無形固定資産	4,080	5,338
投資その他の資産	49,932	56,259
固定資産合計	136,278	154,575
資産合計	1,353,669	1,429,039
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,389	30,517
1年内返済予定の長期借入金	256,996	296,536
未払法人税等	3,108	1,686
その他	71,631	67,186
流動負債合計	362,125	395,925
固定負債		
長期借入金	562,753	579,563
その他	47,071	51,783
固定負債合計	609,824	631,346
負債合計	971,949	1,027,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	574,562	601,764
資本剰余金	91,824	119,026
利益剰余金	△290,179	△322,444
株主資本合計	376,206	398,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	545
その他の包括利益累計額合計	551	545
新株予約権	1,641	1,172
非支配株主持分	3,320	1,702
純資産合計	381,719	401,767
負債純資産合計	1,353,669	1,429,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	569,808	652,156
売上原価	272,276	312,448
売上総利益	297,532	339,708
販売費及び一般管理費	381,815	369,105
営業損失(△)	△84,282	△29,396
営業外収益		
受取利息	11	4
受取配当金	59	69
助成金収入	—	2,000
保険解約返戻金	980	—
その他	67	202
営業外収益合計	1,119	2,276
営業外費用		
支払利息	6,960	6,389
その他	92	—
営業外費用合計	7,053	6,389
経常損失(△)	△90,216	△33,509
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,216	△33,509
法人税、住民税及び事業税	372	372
法人税等合計	372	372
四半期純損失(△)	△90,588	△33,881
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,048	△1,617
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,540	△32,264

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△90,588	△33,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△383	△6
その他の包括利益合計	△383	△6
四半期包括利益	△90,972	△33,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,924	△32,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,048	△1,617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ27,202千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は601,764千円、資本剰余金は119,026千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定、会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	524,005	45,803	—	569,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	—	△1,080	—
計	525,085	45,803	△1,080	569,808
セグメント損失(△)	△69,772	△14,509	—	△84,282

(注) 1 セグメント売上高の調整額△1,080千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	591,139	61,017	—	652,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,800	—	△2,800	—
計	593,939	61,017	△2,800	652,156
セグメント損失(△)	△17,952	△11,444	—	△29,396

(注) 1 セグメント売上高の調整額△2,800千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。